

JSR 株式会社
2024年3月期 決算説明会 質疑応答要旨
(2024年4月30日開催)

決算補足資料: https://ssl4.eir-parts.net/doc/4185/ir_material_for_fiscal_ym/154513/00.pdf

1. ライフサイエンス事業 (LS) について

(Q) 事業のリストラやオペレーション強化の成果は24年以降にでるとのことであるが、Q3からQ4にかけて大きく減益になっている。理由として、2020年ごろの経営判断が尾を引いているなど、過去の決断が赤字を引き起こしている、ということはないのか？事業のリストラは、具体的にどういうことをして、24年以降黒字化するといっているのか教えて欲しい。

- 2023年に出ている問題は主に、COVID-19パンデミックのプレッシャーを受けたサプライチェーンの不安定さが、原因となり、問題をより加速させてしまった。構造的な問題という事に、より早期に気が付いていれば、もう少しうまく乗り越えられたのでないか、という思いもある。
- KBIは経営チームが新しくなり、業務プロセスを掘り下げて検討し、改善に取り組んでいる。実際、2024年には収益性が大幅に改善すると見ており、2025年に向けて改善は加速していくと予想している。

(Q) CDMOの事業は、QoQ6%の増収であった。新工場の進捗とそれから中小のバイオベンチャーの需要動向について教えて欲しい。中小バイオベンチャーについては、3カ月前には、需要に底打ち感が見られるところだったが、回復は見られているのか？米国のバイオセキュリティ法に関して、JSRがシェアアップできる可能性があるか、教えて欲しい。

- マクロ経済の状況ですが、CDMO市場はポジティブな示唆が見られる。ベンチャーにおいてもポジティブな兆候はみられるものの、資金が流れ始めている状況ではなく、回復に入ったというには時期尚早な状態。我々のCDMO事業におけるパイプラインの実績という点では、最先端で価値の高い顧客を獲得しており、KBIの立ち位置については非常に良い状況にあると考えている。
- バイオセキュリティ法については、多少の可能性はあると思う。しかし、まだ不確実なところもあり、不明な点も多く、これが我々にとってメリットになるのかどうかということについては、コメントを差し控える。

2. デジタルソリューション事業について

(Q) 半導体業界の見通しについて、シリコンウェハのインプットは5~10%みているとのことであるが、MemoryとLogicに分けて見通しているか？生成AI関連はどのぐらいの影響があるという見立てをしているか？EUVが回復しているが、EUVが伸びていくのは、DRAM向けなのか、3ナノ以降のLogic向けなのか？

- 詳細についてはご説明できないが概要としては、2024年には回復の見通し。ただ、24年度については、引き続きリスクもあると考えているため、市場の兆候については慎重にみている。

- Memory と Logic の状況については、DRAM は回復が見られる。NAND は若干の遅れ。Logic もよい兆候が見られる。しかし、兆候が出始めたばかりなので慎重に見極めようとしているところ。
- 生成 AI は半導体業界にとっては良いニュースであり、中長期的に大きな影響があるとみている。生成 AI は単純に量というだけでなく、テクノロジーを前進させるという意味でも大きな影響を業界に与えると考えている。

3. TOB 関連

(Q) TOB においては、各国の承認がしっかりと取れたということであるが、実際、この話を進めるにあたって想定をしていないような反論があったか？周囲の反応は合理的だったのか教えて欲しい。

- 全体の意見としてはプラスに捉えられたと考えている。想定外の反論があったということは認識していない。プロセスを通じて、強いサポートを得た。

(Q) 業界再編のターゲットにおいては、前工程、後工程を問わず、材料メーカーの垂直もあるとしていた。条件としては日系メーカー、という説明だったが、これは変わらないのか？

- 今後の戦略については、さまざまなシナリオを考えている。自分たちを枠にはめたくはない。日本のエコシステムの中で非常に価値があり、効率化を推進するための最善の機会を検討していく。おそらく日本国内で同じような考えを持つ企業と良いパートナーシップを築き、真の価値創造を推進する絶好の機会があると考えている。

4. その他

(Q) 円安にふれているが、日本の経済、JSR の業績にどのように影響するのか？

- 売上高という意味では、円安というのは、我々にとってプラスになる。ただ、長期的に考えると、サプライチェーンにおける不安定化や事業環境においての不安定化が発生するため、最も重要なのは、安定性と予測可能性だと思う。中長期的にはやっぱり安定した為替が望まれるが、短期的な面では、当社の場合、輸出型の製造業であるので、利益にとってポジティブに働く面が多い状況ではある。

以上